

九州工大生で良かった

生体機能応用工学専攻M1 上原 太一



明専スクールとは何か、どのような活動をしているのか、そして実際に参加し、体験した自分の感想、意見、本音を記します。

参加のきっかけ

自分の所属研究室の花本先生から、「明専スクールっていうのがあるけど参加してみる？」、二週に分けての土曜日に開催されると言われ、大した用事もなかったので参加しようかなというのが参加理由でした。

迎えた明専スクール初日(午前)

開催日当日、土曜日の朝から戸畑キャンパスに行き、会場になっている講義室に向かいました。M1、B4は今回から参加できるようになったというので、学年も違う初めましての人がほとんどでした。初日はまず、大学の先輩である企業の人の話を聞きました。まずこの体験が非常に貴重であり、各企業の掲げている企業理念について

のお話でした。企業理念について考えたことはあるか？ 企業理念とは何なのか？ 今までの自分には無かった仕事に対しての考え方、学生だけでは思いつかない考え方、就職する際の企業の新しい見方を学ぶことができなくなりました。

グループワーク

午後からは、各班に分かれての活動となり、自分たちの班がどの企業の企業理念について調べるか、発表資料はどのような流れで進めるか、大まかな資料構成を考えました。

この際にも感動した点があり、この日初めましてのメンバーで、発言が全然出ないで話し合っているのではと自分では心配してい



OB 講師による講義



グループワーク中のA班

たのですが、班全体の発言意欲が高く、全員が全力で課題に取り組み、考え、話し合いに参加し、逆に意欲が高すぎるあまり熱を帯び過ぎて話し合いがまとまらないときもありました。その後、次の集まりまでに各班 Zoom 上で集まり、意見をまとめていこうということだったので初日は終わりました。

明専スクール2日目

各班で決めた日に何度か集まり迎えた2回目、この回は最初から各班が集まり、発表に向けての最後の修正をしました。各班にはサポーターしてくれる企業の先輩がいらつしやり、その方々からも学生の自分たちでは考えられない観点や、経験から貴重なアドバイスをいただき、資料作成し、発表までを終えることができました。どの班も発表資料が読みやすく、しっかり調べられており、九州工大生の課題取り組みへの意欲や意識の高さ、何よりも人に伝えることの工夫や丁寧さに改めて感動しました。



熱のこもったプレゼン

貴重な懇親会

各回の終わりに行われた懇親会(食事会)も印象的でした。発表までのサポートや全体の進行に関わってくださった企業の方や明専会の方など、普

段あまり近い距離でお話をする機会のない方々ともいろんな話をすることができました。

どうしても伝えたいこと

ここまでの懇親会を含めた2日間の明専スクールを終えて、企業の方から直接発表資料についてのアドバイスを頂き、企業とはどのような組織なのか、自分たちには無い先輩方の経験や、知識を教えていただくことができました。これは本当に貴重な経験であり、明専スクールに参加しなければできなかった、自分の大きな財産となりました。自分が明専スクールに参加できる九州工大生で良かったと心の底から思いました。今この記事を読んでくださっている九州工大生の皆さん、まずは明専スクールに参加してみてください！間違いないここでしか得られない貴重な知識、経験を得ることができます！最後に、明専スクールにお誘いいただいた花本先生をはじめ、運営、進行してくださったOB・OGの先輩方、ともに切磋琢磨しながら高めた班のメンバー、参加者の皆さまに心より感謝いたします。



懇親会の様子

最後に、明専スクールにお誘いいただいた花本先生をはじめ、運営、進行してくださったOB・OGの先輩方、ともに切磋琢磨しながら高めた班のメンバー、参加者の皆さまに心より感謝いたします。



明専スクール校長より修了証の授与